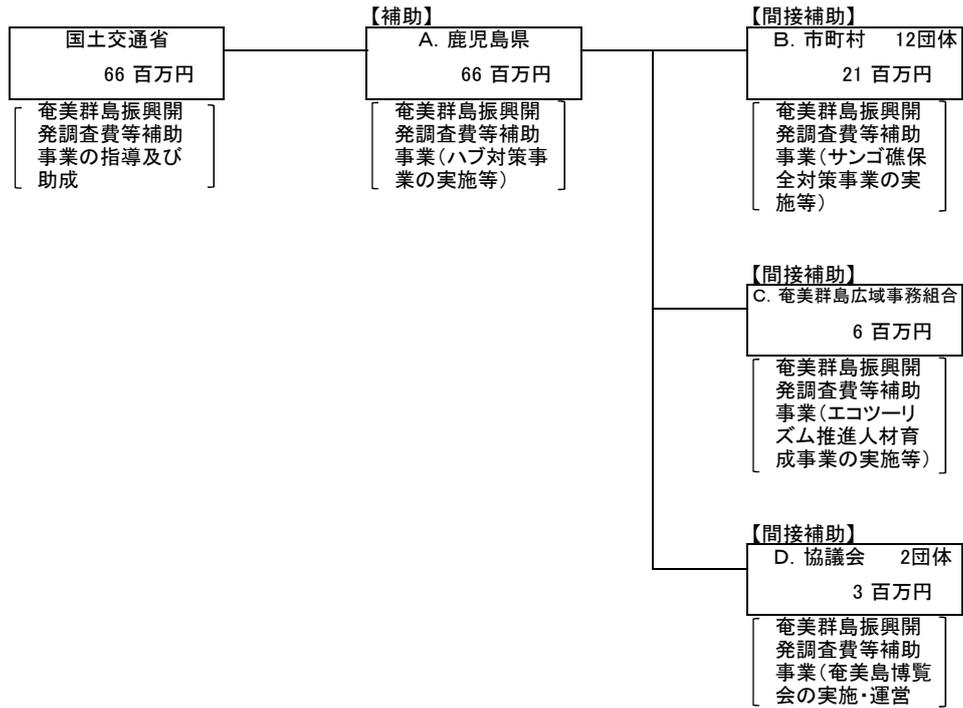


行政事業レビューシート (国土交通省)

予算事業名	奄美群島の振興開発に要する経費 (奄美群島振興開発調査費等補助金)	事業開始年度	昭和29年度	作成責任者																					
担当部局	都市・地域整備局	担当課室	特別地域振興官	特別地域振興官 安栖 宏隆																					
会計区分	一般会計	上位政策	離島等の振興を図る																						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	奄美群島振興開発特別措置法第6条第5項	関係する計 画、通知等	-																						
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	・地理的・自然的条件(外海離島・台風の常襲地帯)や歴史的経緯(昭和21年より昭和28年まで行政分離され米軍政下)など、奄美群島における特殊事情にかんがみ、その基礎条件の改善並びに地理的及び自然的特性に即した奄美群島の振興開発を図り、もって奄美群島の自立的発展並びにその住民の生活の安定及び福祉の向上に資することを目的とする。																								
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	・奄美群島振興開発特別措置法第6条第5項に基づき、奄美群島の地理的・自然的特性その他の特殊事情により、奄美群島において国の補助を受けて行う必要があると認められるものについて、国は地方公共団体に対し補助を行うことができることとされている。 ・平成21年度は、地方公共団体が行うソフト事業(①産業振興等地域資源活用、②奄美群島体験交流、③人材育成支援、④生活・環境保全対策)の実施に要する経費の一部を補助。(補助率8/10.7/10.1/2)																								
実施状況	<p>○ 振興開発調査費等補助金の実施団体数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成19年度</th> <th>平成20年度</th> <th>平成21年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①産業振興等地域資源活用</td> <td>1 団体</td> <td>1 団体</td> <td>1 団体</td> </tr> <tr> <td>②奄美群島体験交流</td> <td>14 団体</td> <td>14 団体</td> <td>6 団体</td> </tr> <tr> <td>③人材育成支援</td> <td>1 団体</td> <td>1 団体</td> <td>1 団体</td> </tr> <tr> <td>④生活・環境保全対策</td> <td>12 団体</td> <td>13 団体</td> <td>13 団体</td> </tr> </tbody> </table>						平成19年度	平成20年度	平成21年度	①産業振興等地域資源活用	1 団体	1 団体	1 団体	②奄美群島体験交流	14 団体	14 団体	6 団体	③人材育成支援	1 団体	1 団体	1 団体	④生活・環境保全対策	12 団体	13 団体	13 団体
	平成19年度	平成20年度	平成21年度																						
①産業振興等地域資源活用	1 団体	1 団体	1 団体																						
②奄美群島体験交流	14 団体	14 団体	6 団体																						
③人材育成支援	1 団体	1 団体	1 団体																						
④生活・環境保全対策	12 団体	13 団体	13 団体																						
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求																			
	予算額(補正後)	65	63	66	67	88																			
	執行額	65	63	66																					
	執行率	100.0%	100.0%	100.0%																					
	総事業費(執行ベース)	-	-	-																					
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は地方公共団体等に対する補助事業であるため、支出先である地方公共団体等の申請に基づき補助金の交付を決定している。 ・補助金の交付の決定にあたっては、地方公共団体等から提出のあった補助金交付申請書及び関係書類により用途を把握している。 ・補助事業終了後、完了検査を実施することにより、補助事業の目的に沿った効果的な使われ方になっているか確認している。 																							
	見直しの余地	<ul style="list-style-type: none"> ・地元自治体等からの要望を踏まえつつ、奄美群島の自立的発展に資する事業であるか、他の補助金を活用して実施できないか、奄美群島の自然的特性その他の特殊事情により国が補助する必要があるかなどを精査した上で、効果的かつ効果的な事業の実施が一層図られるよう支援していく。 (20年以上経過した事務事業の廃止を前提とする検証) ・本事業は、5年間の時限のある奄美群島振興開発特別措置法に基づき実施されるものであり、5年ごとに国会において必要性等を審議されるものである。平成21年3月の法改正を踏まえて新たに策定された奄美群島振興開発計画に基づく事業として引き続き実施する必要があるが、上記の観点から見直しを行う。 																							
予算・監視の効率化	<p>【抜本的改善】</p> <p>奄美群島地域の特殊性を踏まえた自立的発展を促進するための産業振興、体験交流、人材育成等のソフト施策について、国が支援を行う必要性及び本制度による支援を行う必要性を厳格に精査した上で、奄美群島地域の主体的・自立的な取組につなげる政策目的に照らして真に必要なもの、効果の高いものから採択されるよう、採択基準における優先順位の明確化を図るとともに、事業の重点化を図る。</p>																								
補記	<p>平成21年度に実施した上記①～④の事業内容は以下のとおり。</p> <p>①産業振興等地域資源活用(H21:10百万円):水資源有効活用調査、森林資源活用調査、自立促進基礎調査 ②奄美群島体験交流(H21:17百万円):奄美ミュージアム交流ネットワーク形成推進、奄美長寿子宝プロジェクト、皆既日食in奄美 ③人材育成支援(H21:2百万円):エコツーリズム推進人材育成事業 ④生活・環境保全対策(H21:37百万円):ハブ対策、サンゴ礁保全事業、奄美群島自然共生事業</p> <p>【予算科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・081 離島振興費 ・95 奄美群島の振興開発に必要な経費 (21年度予算額) (21年度決算見込額) ・95016-2815-16 奄美群島振興開発調査費等補助金 66百万円 66百万円 																								

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。使途
 と費目の双方で
 実情が分かるよ
 うに記載)

A.鹿児島県					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
奄美群島振興 開発調査費等 補助金	奄美群島振興開発調査費等補助事業 (ハブ対策事業の実施等)	66			
計		66	計		
B.奄美市					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
奄美群島振興 開発調査費等 補助金	奄美群島振興開発調査費等補助事業 (サンゴ礁保全対策事業の実施等)	6			
計		6	計		
C.奄美群島広域事務組合					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
奄美群島振興 開発調査費等 補助金	奄美群島振興開発調査費等補助事業 (エコツーリズム推進人材育成事業の実施 等)	6			
計		6	計		
D.奄美群島体験受入協議会					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
奄美群島振興開発調 査費等補助金	奄美群島振興開発調査費等補助事業 (奄美島博覧会の実施・運営)	2			
計		2	計		

(注) 支出金額は百万円未満を四捨五入して表記している。

【別紙】

B.市町村(12団体) 21百万円		
No.	支出先	金額 (百万円)
1	奄美市	6
2	瀬戸内町	5
3	和泊町	3
4	与論町	2
5	龍郷町	1
6	徳之島町	1
7	天城町	1
8	伊仙町	0.5
9	宇検村	0.5
10	知名町	0.4

D.協議会(2団体) 3百万円		
No.	支出先	金額 (百万円)
1	奄美群島体験受入協議会	2
2	奄美群島サンゴ礁保全 対策協議会	1
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		